

学校法人 北工学園 旭川福祉専門学校  
令和5年度 第2回学校関係者評価委員会  
議事録及び評価内容について

【1】令和5年度 第2回学校関係者評価委員会

日 時 令和6年2月29日（木） 10:00～12:00

開催場所 学校法人北工学園 地域生活支援センター「ふれ愛の郷」2階 研修室  
(上川郡東川町進化台 第1校舎向い)

出席者 菅原 信子委員 (旭川のびろ保育園園長、社会福祉法人旭川葦の会理事、全国民間保育所  
経営懇談会役員)

片山 寛美委員 (NPO 法人ノーマライゼーションサポートセンターこころりんく東川  
理事長)

新家 修 委員 (旭川赤十字病院情報システム課長)

小山 正道委員 (東川町立日本語学校校長)

[学校関係者]

三宅 良昌学校長・黒田 英敏副校長

成田 潤子こども学科学科長・富塚 稔 介護福祉科学科長

二階堂 巧医薬福祉学科学科長・伊藤 紫日本語学科学科長

内 容 (議事)

- 1 開会 出欠報告 学校長挨拶
- 2 評価方法等説明
- 3 議長選出 黒田副校長が議事を進行すること了承いただく。
- 4 学校関係者評価委員会開始

以後議長の進行のもと各評価項目について、担当した教員から自己評価の報告がなされ、これに対して委員から評価・意見等が述べられる。

①令和5年度重点目標と達成計画

②基準1 教育理念・目的・育成人材像

③基準2 学校運営 以上 → 黒田自己評価内容報告

→ 以下、委員からの意見、評価等

・こども学科の「卒業記念発表会」は感動した。児童デイのこどもたちが来ていた。地域のこどもたちには是非見て欲しいと思いました。今後こういう機会をつくっていただきたいと思います。

④基準3 教育活動 → 二階堂から自己評価内容報告

・教員組織について、正直連携はうまくいっているのか、横のつながりはどうなのかと思う。

・また学校と寮の連携もどうなのか。

⑤基準4 学修成果 → 成田から自己評価内容報告

・卒業生へのフォローについては留学生については多文化共生室との連携も一案と思う。

⑥基準5 学生支援 → 伊藤から自己評価内容報告

・耕生活動は大変良い取り組みであるが、苗を植え収穫して持ちかえりで終わるのだけではなく、その後学校で収穫物を調理し、食べるなど食の体験につなげるなどの工夫が必要ではないか。

・同窓会の組織化

⑦基準6 教育環境 → 富塚から自己評価内容報告

- ・図書室については、卒業生に譲ってもらうなどをしては。
- ・図書についてはセントピュアから蔵書を定期的に借りて学生たちに貸し出せないか。
- ・感染症対策での消毒、清掃などについては単に教職員のみで行うのではなく学生の学びの機会として捉えて指導することもあって良いのでは。
- ・病院スタッフから幼児救急法等の短期講習で派遣してもらうのも学習になる。
- ・避難訓練についても就職後は職員として誘導する立場になるのであれば、教員だけで誘導するのではなく、学生にも役割をあたえて訓練を実践してはどうか。
- ・留学生がいるのであれば多言語アプリで災害情報の活用もある。
- ・情報システムについてはきちんとライセンス契約して整備する必要がある。

⑧基準7 学生の募集と受け入れ → 二階堂から自己評価内容報告

- ・広報活動については、楽しい学校生活と、専門職を輩出していることを伝えて欲しい。
- ・教員だけの発信ではなくSNSであげるのには学生は得意。学生の力も借りたらいい。(もちろん勝手にではなく)

⑨基準8 財務

⑩基準9 法令等の遵守

⑪基準10 社会貢献・地域貢献 以上 → 黒田から自己評価内容報告

⑫令和5年度重点目標達成についての自己評価

⑬令和6年度重点目標と達成計画 以上→ 黒田から報告

その他(全体をとおして)

- ・先生方のメンタル対策がなされているか。大切。

校長挨拶 委員各位に謝意を述べる

5 閉会 委員会終了

【2】学校関係者最終評価内容(第2回委員会後、4名の学外委員の提出された意見を集約)

①令和5年度重点目標と達成計画

委員評価: 適切4 不十分0 不適切0

- ・外識者等の意見を取り入れた学校運営について、多方面からの意見を聞くという姿勢は大切だと思います。

②基準1 教育理念・目的・育成人材像

委員評価: 適切4 不十分0 不適切0

- ・2月24日の子ども学科の一般公演を拝見いたしました。昨年同様とても素晴らしかったです。児童デイサービスの子どもたちがたくさん来ていました。とても良い取り組みだと思います。

③基準2 学校運営

委員評価: 適切4 不十分0 不適切0

- ・全国平均を上回る合格率。とても頑張っていると思います。
- ・情報管理システムの更新の計画が必要と思われるが問題はありません
- ・2-7システム更新の際にはハード、ソフトの資産管理を実施して下さい

・ソフトのライセンスについて違法コピー厳禁です

④基準3 教育活動

委員評価：適切3 不十分1 不適切0

- ・チームとして、動いていく姿勢がもっと必要かと思えます。
- ・3-9「教育課程編成委員会」の規約、メンバー、議事録を拝見したいです。
- ・教育活動にITの導入されています。活用の準備や計画が望まれます。
- ・卒業記念発表などの活動が復活し、学生たちが観客の前で発表出来る機会は貴重だと思えます。

⑤基準4 学修成果

委員評価：適切4 不十分0 不適切0

- ・弱点に合わせた補講の実施などに取り組んでいる。
- ・4-14 資格取得時期に合わせ、対策していることは評価できる。
- ・4-15 卒業生把握については、ご検討下さい。

⑥基準5 学生支援

委員評価：適切3 不十分1 不適切0

- ・5-19-2 専門職員、学校医の選定がないのであれば、「4」ではないのでは。
- ・5-19-3 上記同様、近隣の医療機関、「4」ではないのでは。
- ・入学人数が少なくなっても学生一人一人への援助を必要とするケースが増えてきているのではないかと。担任だけでなく職員の連携を取りながらの対応が益々、必要になっていくと思えます。
- ・2023年シグマソサエティ認証を受けられ、ボランティア活動を評価されました。また、留學生への支援をどう進めていくかは今後の課題だと思えます。
- ・学生、保護者の多様化へ適切な対応が求められるが難しいと思われる。そのため、教育相談などインターネットの活用をすると良いと思われる。インターネット環境の高速化など条件整備の計画すると良いと思われる。

⑦基準6 教育環境

委員評価：適切1 不十分3 不適切0

- ・パソコン環境の整備が望まれます。情報システムが課題かと思えます。
- ・クーラーが設置されておらず暑い夏や冬の寒さに苦勞している姿があり計画的に増やしていくことを考えてはどうかと思う。学生の確保にも繋がるのではないかと。
- ・広い畑での耕せい活動や食育実習室の活用を今後も続けていけたらと思う。
- ・6-24「危機管理マニュアル」についての記述について、「4」ではないのでは。

⑧基準7 学生の募集と受け入れ

委員評価：適切2 不十分2 不適切0

- ・SNSでの発信については、学校側が手が回らないのであれば、制約を設けたうえである程度、学生に作成してもらうことも検討を。
- ・少子化で学生確保に苦勞するところだと思うが卒業生が『良い学校』と思えることが大事なことでと思います。それがなによりの宣伝になるのだと思います。
- ・広報については、学生の力を借りて、インスタなどを利用し、学校のいろいろな場面を紹介していくこともいいのではないのでしょうか。
- ・学生募集は常に課題となっているし、その努力は絶大です。

⑨基準8 財務

委員評価：適切3 不十分1 不適切0

- ・財務も常に課題となっているし、その努力は絶大です。

⑩基準9 法令等の遵守

委員評価：適切4 不十分0 不適切0

⑪基準10 社会貢献・地域貢献

委員評価：適切4 不十分0 不適切0

- ・FBやInstagramなどの情報発信は学生を指導する余力があれば効果があります。
- ・取り組んでいる活動を広めてほしいと思います。SNSを活用し、若い人にも知ってほしいです。
- ・コロナ禍も落ち着き、外へむけての活動も増えてきているので交流を広げ、深める取組が大事になると思います。

⑫令和5年度重点目標達成についての自己評価

委員評価：適切 4 不十分 0 不適切 0
-----------------------

⑬令和6年度重点目標と達成計画

⑭その他

・先生方のお話を聞いていると学課間や学校・先生・職員間でのコミュニケーション不足を感じました。（実施してなければ、全部の職員が参加する会議などを開催し、）縦割りでなく、横のつながりが必要かと思います。

・少子化は経営に直結する大きな問題だと思います。入学したくなるような魅力ある学校づくりを学生からの意見ももらいながら職員も含めて考えていけるといいなと思います。

・東川町は、小さい町ではあるが、小、中、高、養護学校、専門学校が全てある町です。これは、人的財産であると思います。福専は、国際的人材が集まってきている専門学校です。これは、地域の大きな財産だと思います。